

こんごういん ニュース  
金剛院 NEWS

# 第2回生活セミナー「遺言の書き方」

「自分らしい遺言(ゆいごん)書」を作る人が増えています。



「遺言(ゆいごん)」と聞くと、その大切さについてはなんとなくわかっているけど「まだ先のこと」「手続きが大変そう」と、ついつい先延ばしにしてしまいがちです。

なかには「縁起でもないとか、死んだあとの事なんて考えたくもない！」と、怒り出してしまう人も少なくないんですよ。

セミナーの冒頭、講師の中野先生は、こう切り出しました。

「遺書(いしょ)」とイメージが混同しているせいか、どうも「遺言書」には、避けて通りたいマイナスのイメージがあるようです。

そうした誤解を解きほぐし、実例を交えながらセミナーは進められました。



続いて中野先生ご自身の体験から、遺言書がなかったために「そのとき」が来てから大変なことになった例や、「作っておいてよかった」例などが、資料を使ってわかりやすく説明されました。

さらに遺言書の種類とそれぞれのメリットとデメリット、どのくらいお金がかかるかなど実際に役立つお話も。



最後に「遺言書は、自分らしい人生の終わりのシナリオを考えること。だから、時期や年齢は関係ないんです。すべての方に、今日から遺言を作り始めて欲しい」と締めくくりました。いつかやってくる「そのとき」に備えて、時間をかけて



考え、気持ちを整理して周囲と話し合うことがも大事なのだという事を知るセミナーになりました。



終了後には先生に熱心に質問する方の姿も見られました。3月の震災以降、遺言書についての相談は全国的に増えているそうです。

震災は、いつかやってくる「そのとき」に備えることの大切さに気づく、大きなきっかけになったのかもしれない。

会場では「お寺がこうした相談窓口になっているというのは、



とても良いことですね。また参加したいと思います」といった感想が聞かれました。

## ぜひ「あなたらしい遺言書」を

遺言書を書くには、覚悟と勇気と気力が必要ですが、大切な財産と気持ちを引き継ぐ「あなたらしい遺言書」を作りましょう。いつでも、ご連絡頂ければ、個別のご相談を受付けます。複雑な手続きは専門家にお任せください。

(講師：中野千津香)

★5月の「相続セミナー」に続く、生活セミナー第二弾「遺言の書き方」、いかがでしたでしょうか。遺言書をつくることは、「いかに死んでゆくか」に向き合うこと。それは「いかに生きていくか」を考えることでもあるのです。人生をきれいに終わらせるために、前向きに、自分らしい遺言を作ってみてはいかがでしょうか。今回のセミナーが、そのきっかけになれば、嬉しいですね。次回は来年3月頃に年金のセミナーを行います。ぜひご参加ください。(住職記)